

企画部

組織目標



企画部は、秘書課・企画課（未来共創推進室）・デジタル行政推進課・情報政策課・財政課で構成し、秘書、広報、市勢振興の企画及び調査、各部課の調整、産官学連携、DX・行政改革の推進、情報政策、予算に関する施策に取り組んでいます。

企画部の目標（令和4年度）	企画部長 岩田正博
【部の基本方向】 第6次入間市総合計画の目標である「みんなでつくる 住みやすさが実感できるまち いるま」の実現に向けた施策・事業の総合調整を行うことで、多様化する行政需要や新たな政策課題に的確に対応してまいります。	
【部の重点方針】 1 第6次入間市総合計画後期基本計画及び入間市行政改革大綱第2期実行計画を着実にスタートさせ、軌道に乗せるとともに、SDGsの浸透を意識し、社会変化を見据えた計画的かつ効率的な行政運営の推進を図ります。 2 本年度からスタートした新たな組織体制を十分に生かし、入間市が進める政策のパーパス（目的・意図）を意識した広報事業の展開や官民連携のまちづくりを進めます。 3 自治体デジタル・トランスフォーメーションの視点を踏まえ、効果的で効率的な行政運営の実現と利便性の高い地域社会の構築を意識した施策の推進に取り組めます。	
【課の目標（達成すべき目標）】 【秘書課】 1 市長及び副市長の日程を適正に管理し、市長等の業務が効果的、かつ効率的に遂行できるよう調整を図ります。また、市公式ホームページに開設した「WEB市長室」の充実を図ります。  【企画課】 2 第6次総合計画 前期基本計画を総括するとともに、後期基本計画に連動した実施計画を策定し、計画の着実な推進を図ります。また、SDGsの浸透を意識した行政運営の推進を図ります。  【未来共創推進室】 3 未来構想の創造や広報のあり方の研究に着	【目標の達成度合】 1 日程管理システムの共有により、日程調整の効率化を図ることができました。また、「WEB市長室」においては、新たに、市長定例記者会見における資料の公開及び当日の様態を動画配信するなど内容の充実を図ることができました。 2 第6次総合計画 前期基本計画を総括するとともに後期基本計画に連動した実施計画を策定しました。併せて、第1期まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括を行いました。また、令和4年5月にSDGs未来都市の選定を受け、SDGs未来都市計画を策定しました。 3 『心豊かでいられる、「未来の原風景」を創

手し、その推進を図るとともに、官民連携プラットフォームの設置に取り組みます。

【デジタル行政推進課】



- 4 策定したDXビジョンを踏まえ、市の計画や、それぞれの取組に「DXのねらいや考え方、手法」を加えることで、計画の目指す成果を最大化し、取組を一層効率化することを目指します。また、令和4年度から始まる「行政改革大綱第2期実行計画」に基づく行政改革を推進し、令和4年度は3億5,155万円の効果額達成を目指します。

【情報政策課】



- 5 国が提唱するスマート自治体の実現に向けて、文書管理、勤怠・休暇管理を電子化するとともに、電子決裁システムを導入し、内部事務の効率化を図ります。

【財政課】



- 6 事業の必要性、緊急性、優先性を考慮した予算の管理、編成事務を通して財政の健全性を維持します。また、安定した財政運営を行うため、標準財政規模の10%（約25億円）を超える財政調整基金の年度末残高の確保に努めます。

造し伝承する』という、本市の未来構想（パーパス）を定めました。また、市公式ホームページの全面リニューアルに着手し、令和5年4月より稼働しました。さらに、プラットフォームの設置に向けて先進事例の研究に着手しました。

- 4 部長・次長・課長職・DX推進担当職員に対しDX研修を行い、DXビジョンのねらいや考え方、手法について、市の計画や取組への反映を図りました。また、「行政改革大綱第2期実行計画」の個別改革進行プランについては、各部課による取組の進行を管理するとともに、実現に向けて調整することで推進を図りました（効果額は決算終了後に集計し、別途市公式ホームページで周知します）。

- 5 内部情報系システムを導入し、文書管理、勤怠・休暇管理を電子化するとともに、電子決裁を導入することにより、内部事務のDX化を図りました。

- 6 新型コロナウイルス感染症対策を含め、事業の必要性、緊急性、優先性を考慮した予算の管理・編成を行い、限られた財源を効率的に配分することで健全な財政運営を行うことができました。また、財政調整基金の年度末残高は、約41億円となりました。